

事例4

< 事例概要 >

- ・ 50 歳代。精神科病院入院中。意思疎通困難。向精神薬、下剤を長年服用。
- ・ 慢性便秘と排便時出血があり、大腸内視鏡検査が近医で予定された。
- ・ 検査前日、ラキソベロン20 mL を服用したが反応便なし。検査当日に入院中の医療機関でムーベン1,000 mL を服用し少量の反応便あり。その後、近医でムーベン300 mL を追加服用した。約 3 時間後、血圧、意識レベルが低下した。腹部CT 検査で、直腸に充満した便塊と腸管拡張を認め、救急病院に搬送され、翌日死亡した。緊急内視鏡検査では直腸がんを認めた。
- ・ 死因は、腸閉塞。死亡時画像診断 (Ai) 無、解剖有。